

あすりーと高岡

第22号



土曜っ子 スポーツチャレンジ



目標、目的を持って

髙岡市体育協会 副会長 宇於崎 弘



がる思いでおります。

近年日本は、高齢化、少子化と大きな社会の変革を迎えておりますが、その中であって体育協会としては減少傾向にある子ども達に対し、スポーツに興味を持たせ、スポーツをとおして健康な体をつくり、スポーツをすることで人間的に必要なことを学ばせ、指導していくことが必要でなからうかと思っております。

子ども達の教育に対しては、学校と家庭及び地域社会が有機的に関わり、それぞれがその役割を果たさなければならぬと考えられます。

二世世代同居の家庭が少なくなり、核家族化が進んだ中で、勉強は学校や塾に任せ、親と子のけじめが甘くなり、家庭内の躾や道徳的な面(世間の常識)の教育が不足しているとの指摘も出てきております。

スポーツの分野においても、学問の分野においても、人生に目的意識を持って前進してゆくことを教え、知、徳、体がバランスよく発達した、次世代を担う子ども達をスポーツを通じてこそ育成できると確信しています。

私どもの伏木海陸運送硬式野球部は、目標を掲げながら創部以来苦節十五年、昨年度市対抗野球で東京ドーム出場を果たしましたが、残念ながら二年連続出場はできませんでしたが、しかし、本年10月の日本選手権、大阪ドーム出場(企業・クラブ対抗)に向かって頑張っております。

企業チームとして、会社の仕事もこなし野球も真剣に取り組むという意識のもと、仕事と野球を両立させ、選手一人ひとりが自覚をもってさらなる目標に向かって精進努力をしております。

スポーツ選手としてプロを志すもよし、学問の分野へ進むもよし、社会人として企業に勤めるもよし、いずれにしても少年時代にスポーツをとおして培った精神こそ次世代を担う若者に必要でなからうかと思っております。

平成十五年 評議員会 体育功労者表彰式

平成15年5月17日
於高岡商工ビル

平成十五年度評議員会では、14年度事業報告及び収支決算、15年度事業計画及び収支予算案、役員を選任が審議・承認されました。

会議に先立ち次の方々が体育功労者として表彰されました。

表彰状受賞者

■団体の部

トナミ運輸(株)バドミントン部
タカギセイコーフェアリーズ

■個人の部

清都 勇之 (ラグビーフットボール協会)
大野 幸雄 (バドミントン協会)
桶沢 寛二 (バドミントン協会)
今井 紀夫 (バドミントン協会)
大山 宏司 (バドミントン協会)
舛田 圭太 (バドミントン協会)
大東 忠司 (バドミントン協会)
小峯 秋二 (ソフトテニス連盟)
濱田 瑞紀 (ソフトテニス連盟)
金 智恩 (ソフトテニス連盟)
安吉 永興 (パワーリフティング協会)
坂田 芳寛 (水泳協会)
増山 香織 (水泳協会)

感謝状受賞者

■団体の部

高岡ジュニアレスリングクラブ

■個人の部

勘坂 哲夫 (高岡野球協会)
浅谷 喜悦 (サッカー協会)
浜谷 弘享 (水泳協会)
川中 正明 (卓球協会)
松川 博 (剣道連盟)
本江 幸治 (ソフトボール協会)
鷺江 敏美 (スキー連盟)
細呂木 孝 (柔道連盟)
苅部 望 (レスリング協会)
吉村 政彦 (バレーボール協会)
森 与嗣郎 (相撲連盟)
橋 一代 (陸上競技協会)



役員を選任

退任 常務理事 福尾 博志
理事 大道 真琴
新任 常務理事 高橋 源吾
理事 坂林 恭行

事務局の異動

退任 事務局長 阿実 正夫
新任 事務局長 梅田 康宏

第五十六回

高岡市民総合体育大会

がんばってる！
チビッツ



柔道競技会 (小学生の部)



相撲競技会 (新相撲の部)

第五十六回高岡市体は七月五日(土)、六日(日)両日を中心会期に開催された。総合開会式は、市体を運営する競技団体の要望を受けて、六月二十八日(土)の午後六時から市民体育館で多数の団体の参加により行われた。土曜っ子スポッツチャレンジ代表の前馬雅志君(木津小四年)が保持する大会プラカードを先頭に選手団が入場し、佐藤孝志大会長が開会の挨拶を、フェンシング競技出場の堀美里さん(志貴野中学・高岡古城フェンシングクラブ)が選手宣誓を行った。



訃報

本協会理事の堺三徳氏が七月二十八日にご逝去されました。永年スポーツ界に尽くされた氏のご冥福を心からお祈り申し上げます。

第五十六回富山県民体育大会

一部 総合成績

一般の部		中学の部	
一位	富山市 (二七・八三点)	一位	富山市 (二〇六)
二位	東西砺波郡 (二〇八・八三三)	二位	高岡市 (八七)
三位	黒部市 (二〇三・八三三)	三位	氷見市 (六三)
四位	高岡市 (二〇〇)	四位	砺波市 (五三)

総括

一般の部は、前回に引き続き、一位富山市に大きくリードを許し、二位から四位までが混戦となり、高岡市は過去最低タイの四位にあまんじた。

中学の部は、一位富山市に十九点差と善戦した。特に男子は、富山を上回り得点しており、女子の奮起が期待される。

全体としては、高岡市からの打切り交通費支給などが功を奏し、参加者数が増え参加点は向上しているが、女子の得点力の低さがいめない。

市町村合併など現行方式での県体はあとわずかと推測される。ぜひ、富山市の連勝を阻み、有終の美をかざるべく、一層の努力と工夫で取り組んで行きたい。

中学男子ソフトテニス十二年連続優勝

一般男子柔道

十年連続優勝

中学男子ソフトテニス第四十五回大会(平成四年)から本年の第五十六回大会まで十二年連続、一般男子柔道は第四十七回大会(平成六年)から本年まで十年連続優勝を成し遂げた。十年以上にわたって競技力を維持された関係者の努力を讃えて、八月に開催される県体反省会の席上で、高岡市体育協会より表彰状が送られることになっている。

スポーツドクター・アドバイス

高岡市民病院 医療局長

整形外科 山田 均

国体ドーピング・コントロールにむけて

今年の静岡国体から、国民体育大会でもドーピング検査が実施されることになりました。今年度は全体で50件とわずかですが、今後毎年検体数を増やしていくとのことです。ドーピング検査には競技が終了した直後に行われる競技会検査と国体の前日に選手を指定して行う競技会外検査があります(中学生も中・高年も)。どちらも尿を採取しIOC公認の検査機関でドーピング禁止物質がないか検査されます。陽性にでた場合、国体の裁定委員会で確定のうえ、処分が決定されます。こうした薬剤を意図的に使用する選手は国内ではまじいと思えますが、注意しなければならぬのは、禁止物質とは知らずに服用してしまつて陽性反応が出てしまうことです。とくに注意すべき点を記述しますので参考にしてください。まず治療のために使用せざるをえない薬剤では喘息の内服薬・吸入薬・痛風の尿酸排泄剤、高血圧のβ遮断剤・利尿剤、胃炎・嘔吐へのストロカインなどです。どんな薬剤であろうと治療上やむを得ず使用する場合には、あらかじめ医師の診断書を提出し申告しておく必要があります。次に誰でも手に入る市販の薬剤です。とくに風邪薬には興奮剤であるエフェドリンという物質が含まれているものがあり、十分検討して薬剤を選択する必要があります。

漢方薬も安全とはいえず、比較的普及している葛根湯という漢方薬にはこのエフェドリンがふくまれています。また、ドリンク剤のほとんどは微量のアルコールとカフェインが含まれています。カフェインはある一定以上の濃度で検出された場合のみ陽性と判断されますので1-2本なら問題はありませんが、認識しておくことは大事だと思います。アルコールは通常は問題ありませんが、射撃の場合に禁止薬とみなされます。中高年の男性用の強精剤としてのドリンク剤には筋肉増強剤にあたるホルモン剤が含まれていることが多いので、服用は控えたほうがよいでしょう。また海外の製品は成分が不明なものや、意図的に成分を偽っているものもあるのとくに注意すべきです。大丈夫かどうか問い合わせる場合、〇〇Aは問題ないが、〇〇Sには興奮剤が含まれているなど、大変間違いやすいのが現状です。問い合わせる場合は「〇〇製薬の△△E」と薬剤の末尾まで正確に告げることが大切です。あまり有名でない製薬会社のもは問い合わせても答えてもらえない場合もあります。高岡市体育協会では問い合わせにたいし、いいか悪いかの判断はできませんが、服用しても大丈夫な薬剤のリスト(日本体育協会作製)を持っていますので、その範囲ではお答えできると思っています。

加盟団体紹介(32) 高岡市ボウリング連盟

高岡市ボウリング連盟は平成九年四月に結成し、高岡市体育協会への加入が承認され、会員約五〇名で現在までスポーツボウリングとしての競技力向上のため積極的に諸事業を展開する一方、生涯スポーツとして市民の心身の健全な発育に寄与するため、役員一同頑張っています。

ここで、簡単にボウリング競技を説明しましょう。ボウリングは約一八m先に立っている重さ一・六kgの十本のピンを七・二kg以下の重さのボールで倒す競技で一ゲーム一二球投げて得点を競います。点数の計算はストライクが出ると後二投の点数が加算され、スベアの場合は後一投の点数が加算され十本のピンを十二回続けて倒すと三百点(パーフェクト)で最高点です。

ボウリング競技は一人で戦う個人戦とチームで戦う団体戦があり、チーム戦は皆で助け合って競技する醍醐味があります。

この競技はアマチュアスポーツとして昭和六十二年の沖繩国体で公開競技として参加し、六十三年の京都国体から正式競技になりました。

高岡市ボウリング連盟の会員のうち七〇%は全日本ボウリング協会と県ボウリング連盟の会員であり、全国大会・東日本大会・北信越大会等に参加して

県代表選手として活躍しています。

一方、高齢者会員は生涯スポーツとしてボウリングを楽しんでいます。

市ボウリング連盟は、高岡スカイボウルをフランチャイズとして毎月第三土曜日の午後八時から月例会を開催しています。その他に七月には高岡市民体育大会ボウリング競技を、三月には連盟の選手権大会を開催していますのでボウリングを愛する市民の多数のかたがたの入会を歓迎します。



スポーツアングル

当協会では、登録会員が二桁の弱小協会の為、普及を目的にジュニアフェンシング教室を長年開催してきました。

私が、当協会の理事長に就任した平成十二年には、2000年国体が終わり、体育協会の次の目標としてのジュニア選手の育成強化事業に、フェンシングも育成種目として選ばれ、遠征試合、コーチ招聘強化練習会等の事業に助成金を頂き、ジュニア選手に対して充実した指導強化を図ることが出来るようになりました。その御陰で県外の競技会でも優秀な成績を上げる選手が出てきて、昨年は全国大会で上位入賞し、国際大会に日本代表として小学、中学各一名を送り出すことができましたが、大人も子供も大会に良い成績を残すことが一番の目的になってしまい、楽しく練習する事が少なくなったよう



に思います。ただ、競技スポーツに関わる以上は、勝負にこだわることは間違いではないし、子供たちも勝つ喜びや負ける悔しさを知る事は、大切な事だと思えます。しかし、私個人としては、自分たちの子供のころは、大会に勝つために、大人の指導できびしい練習をしたことなど無かったし、小学生で全国大会どころか、県体、市体にさえ参加出来なく、遊びとしてのスポーツしか無かった事を考えると、今の子供達は、幸せだと思いう反面、小学生や、中学生に、そんなに一生懸命にやらせる必要が有るのかと考えたり、でも選択肢が多く、いろんな大人との関わりがあった方が良くのかもしれないし、色々迷うことが多いけれど、フェンシングを通して、子供達とお互いに学び合いながら独善的にならないように、これからも指導に関わっていききたいと思えます。

(広報部：見津)

賛助会員のお願い

平成十四年度は90個人及び事業所に賛助会員としてご協力をいただき誠に有り難うございました。

ご支援いただいた会費は体育協会の土台を支える加盟競技団体の活動費として活用させていただきます。

本年も協会の活動のために幅広い分野からの協力をお願いいたします。